

# 令和2年度 自己評価結果公開シート

社会福祉法人専勝会  
みつとも保育園

保育園は社会的役割を担っており、常に向上心を持つことが大切です。

当園では、毎年保育士・調理師が及び係わるすべての職員の自己評価を行っております。自己チェック表に基づき振り返りを行い、課題を見つけ、一人一人の質の向上を目指しています。

さらに、その結果を公表することにより保護者との対話の重視・保育内容の充実・地域に根ざす等、社会に開かれた保育園として、研鑽に励みます。

## <評価項目の達成・取り組み状況・これから改善したいこと>

評価項目	取り組み状況
1.運営管理	よく理解できているが、今後も全員がみつとも保育園の理念や運営について理解できるよう努めなければいけない。
2.保育の内容	主担任が計画作成にあたるが、保育には担任以外の先生も加わるので、計画と反省においてもクラスで共通理解することが望ましい。
3.健康及び安全	感染症対策・衛生管理は園内研修を行い、清潔習慣の確立に努め、消毒の強化をしてきた。徹底できているので、今後も続けていく。遊具点検・災害訓練も年間を通し計画的に行っている。
4.保護者支援	保護者との関わりを大切に考えており、子どもを共に育てようとする姿勢がよく現れていた。
5.職員の資質向上	コロナ感染症による自粛で、研修がほぼなく、学びの機会は減ってしまったが、キャリアアップ等の研修・感染症対策等、園内研修を行い全職員での共通理解をしていることで、意識は高い。園長からの指導や会議で決定した方針は、気持ちよく協力する。

## <保育実践における保育の気づきと振り返り>

- 新型コロナウイルス感染症の発生により不安の多い中での保育になりました。自粛となった4、5月の間の成長も時期がずれ込む事となり、例年になく、なかなか思うように満足のいく保育が出来ませんでした。”子ども達の保育”を第一にと心において日々の保育にあたってきましたが、もっともっと子ども達の様々な面を伸ばしてあげることが出来たのではないかと後悔が大きいです。この1年、一日中マスクをしての保育で、子ども達が例年より”口を動かすこと””言葉を発すること”が遅かったように思います。マスクで口を隠すと視覚での成長の妨げになるのではと思います、臨機応変にマスクをはずしマウスシールド・フェースシールドをしながら保育にあたりました。
- 保育園の保育理念・基本方針・保育課程・事故防止や安全管理に対する園の方針を理解できているようで理解出来ていないことに気づきました。
- 日頃の保育の中、子ども達にどのように関わるか、で、子ども達の心身の成長に重要な役割を託されているかを感じます。保護者に共感することはもちろん、安心できる子育てを提供していかなければいけないと感じます。よりよい保育が「生きる証」になる様にまずは、私たち保育者同志の関わりが良好且つ、調和の取れた職場であるべきだと感じます。
- 子どもの気持ちを受けとめ対応していく事も大切だが、同様に保護者の気持ちを理解し、対応していく事も重要であると改めて思った。よりよい保育をしていくために保護者の方々ともたくさん話しをして情報交換し、保育に生かしていきたい。
- 自己主張の強い子はいるが、どの子も自分の話を聞いて欲しい欲求はあるので、一人一人の思いを受けとめるよう配慮してきた。こちらが思っている以上に子ども達は心の成長をしている。うまく表現できない言葉などを汲んで気持ちに寄り添っていこうと思う。
- 今年度は特に安全面にばかりを意識した保育になってしまい、もっと様々な素材を提供し、遊びを展開していけたら良かった。もう少し余裕を持って保育にあたっていきたい。
- 子ども一人一人の発達に対して無理のないように段階に沿って行ってきた。指先を使ったり、身体を動かしたり、言葉のやりとり等、子ども達とのスキンシップは保育士がゆっくり関わらないと子ども達は落ち着かない事がわかった。関わりによって子ども達の成長が変わってくることもわかりました。
- 行事前になるとなかなか戸外でゆっくり遊び時間が取れなかったかなと思う。

○日々子ども達と接していく中で少しずつでも成長が見られる事への喜びや楽しみがあり、「せんせ〜」と話してくれると、笑顔で語りかけるなど心がけて、コミュニケーションの大切さを実感してやりがいを感じました。職員間の連携や協調性がとても大切であり、その事に努め、又、保護者や子ども達に明るく接するよう心がけました。

### <今後の目標>

- ◆ 年間を通しての目標・クラスの目標を確認しながら自分のクラスだけでなく、みんなで子どもの安全を見守っていく。
- ◆ 子どもたちの状況・日々の変化等、情報を共有しながら、子どもたち一人一人の成長の助けとなるような保育をする。
- ◆ 保育の方法や保護者への対応の仕方など、他の先生を参考にしたり、研修で学んだことを取り入れる。
- ◆ 感染症・安全対策に引き続き取り組む。
- ◆ 教材研究をより深め、遊びの環境を整える。
- ◆ 先生達がもっと体を動かし、元気一杯でいつまでも笑顔で仕事ができるよう、心がけていく。